

まい 埋やち

No.24
千葉県八千代市
埋蔵文化財通信
2010.5.28

平成21年度を振り返って

今回は、平成21年度の事業内容を振り返ってみたいと思います。

発掘調査

発掘調査は、9遺跡10地点の確認調査と5遺跡6地点の本調査が行われました。

4月～5月中旬までは調査が全くなく、5月の後半のから調査が頻繁に行なわれるようになりました。それぞれの遺跡の場所や調査の概要は下の表や次ページの図などを参照して下さい

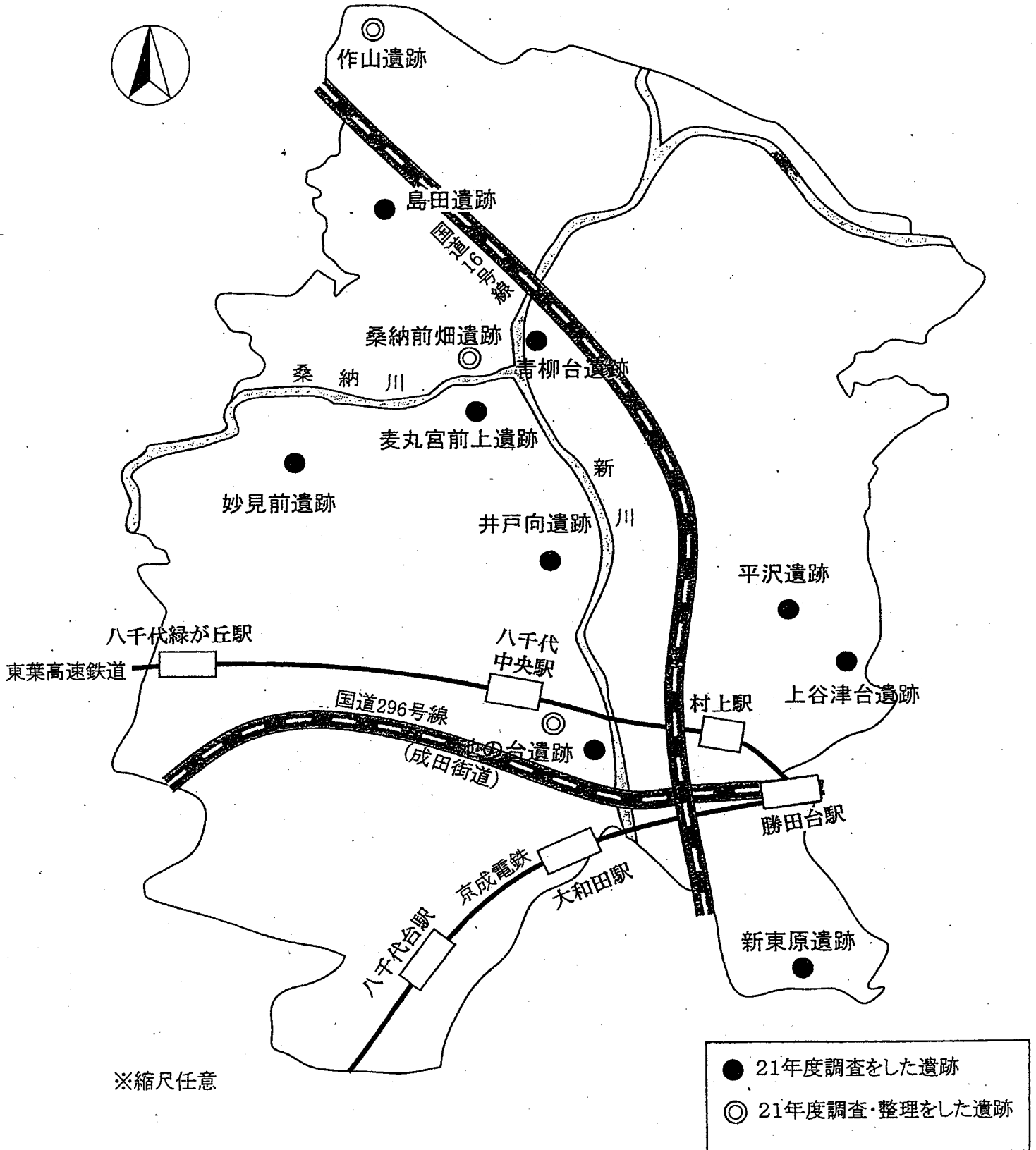
確認調査一覧

遺跡名(地区)	期間	面積	調査概要	備考
池の台遺跡g地点(萱田)	5/20～6/10	248/4,137㎡	縄文時代 落とし穴1基	本調査へ
妙見前遺跡d地点(吉橋)	5/20～5/25	36/549㎡	無し	
麦丸宮前上遺跡b地点(麦丸)	6/18～6/25	163/1,496㎡	奈良・平安時代 竪穴住居跡2軒	
島田遺跡b地点(島田台)	8/19～8/26	42/499㎡	無し	
麦丸宮前上遺跡c地点(麦丸)	9/8～9/10	50/942㎡	無し	
新東原遺跡j地点(勝田)	9/16～11/16	1,065/9,472㎡	奈良・平安時代 方形周溝状遺構1基 溝跡1条	
平沢遺跡b地点(上高野)	9/24～11/6	562/6,000㎡	縄文時代 土坑1基 弥生時代 竪穴住居跡9軒 奈良・平安時代 溝跡1条	本調査へ
井戸向遺跡b地点(萱田)	11/4～11/16	164/1,553㎡	縄文時代 落とし穴1基	
青柳台遺跡b地点(米本)	11/17～11/27	208/2,229㎡	無し	
上谷津台遺跡(上高野)	3/4～3/26	840/8,200㎡	縄文時代 土坑1基 奈良・平安時代 土坑1基 中世 台地整形区画1ヶ所 中近世 溝跡1条	

本調査一覧

遺跡名(地区)	期間	面積	調査概要	備考
池の台遺跡g地点(萱田)	7/16～8/6	20㎡	縄文時代 落とし穴1基	
桑納前畑遺跡b地点(桑納)	8/18～11/4	390㎡	縄文時代 竪穴住居跡2軒・土坑28基 中世～戦国時代 溝跡1条・土坑2基 柵列2条	
作山遺跡d地点1次(小池)	11/10～1/4	16㎡	中世～戦国時代 土坑1基	
作山遺跡d地点2次(小池)	11/20～1/7	163㎡	古墳時代 竪穴住居跡2軒・土坑1基 奈良・平安時代 土坑1基	
作山塚群(小池)	1/19～2/26	125㎡	近世 塚2基	
平沢遺跡b地点(上高野)	1/28～3/31	1,100㎡	奈良・平安時代 溝跡2条・土坑4基	22年度へ 継続調査

平成21年度に調査・整理等を行った遺跡



※縮尺任意

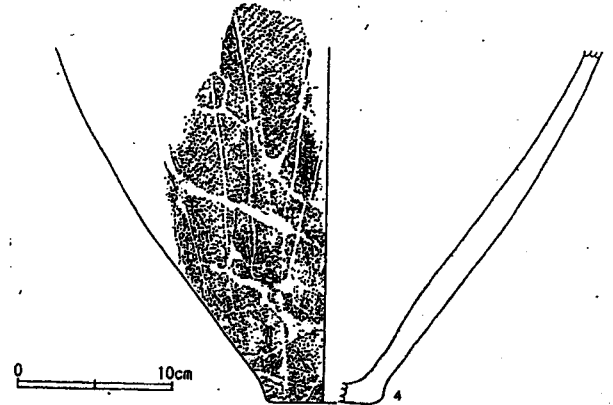
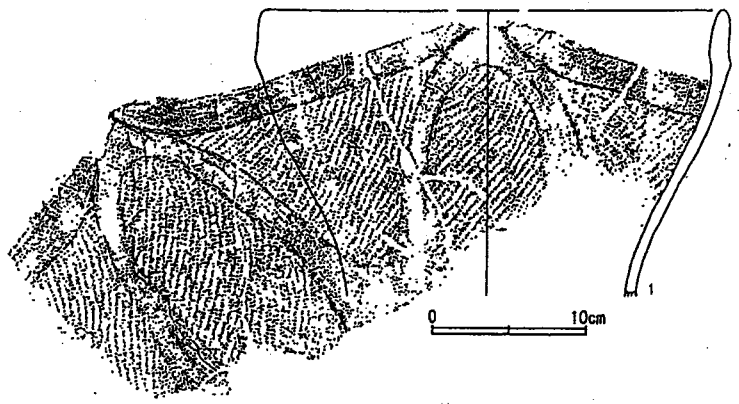
年表

縄文時代					弥生時代	古墳時代	奈良・平安	中世
早期	前期	中期	後期	晩期				
9000年前	6000年前	5000年前	4000年前	3500年前	3000年前	1700年前	1300年前	800年前

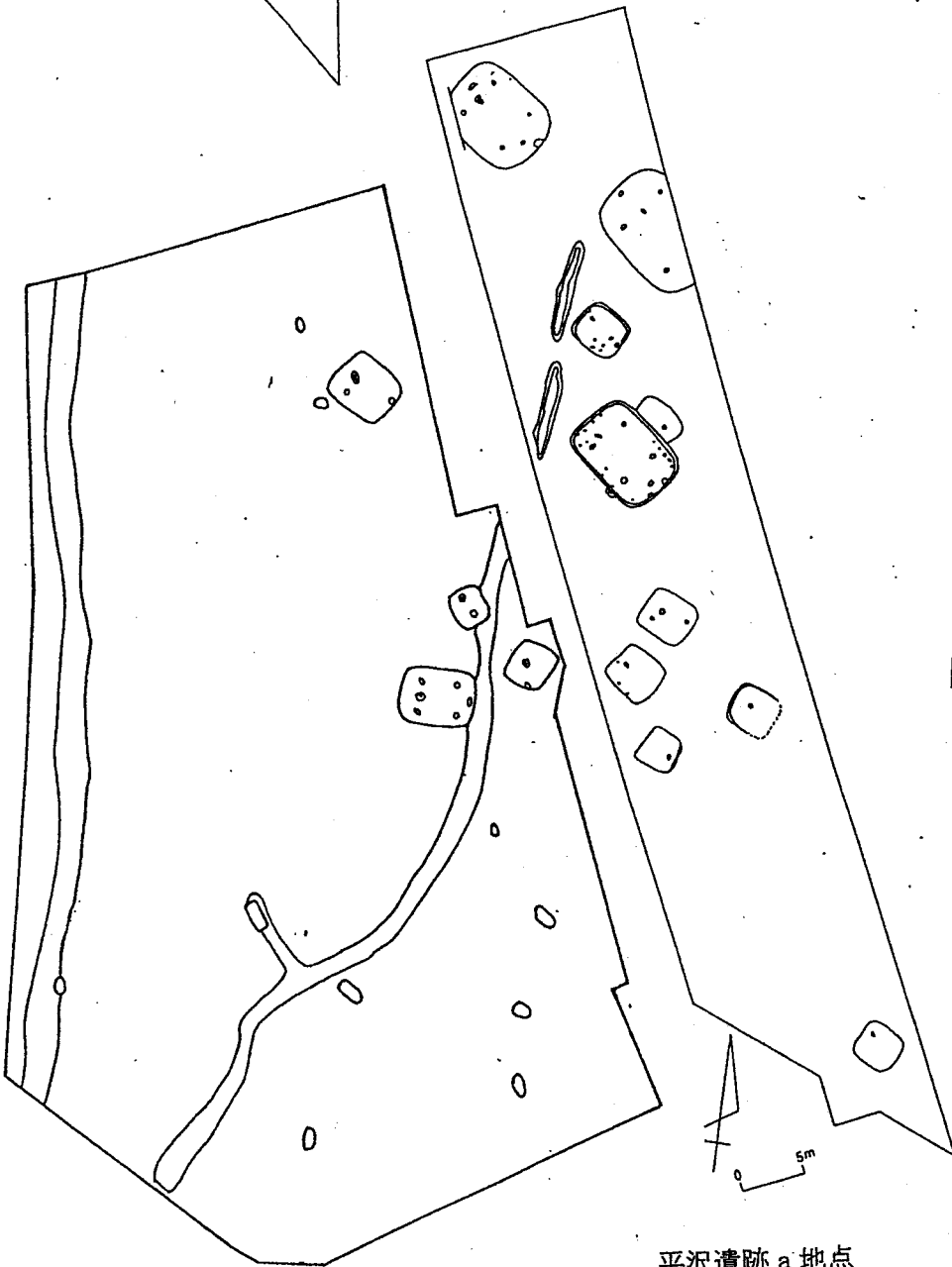
※ 時代区分には諸説あります。



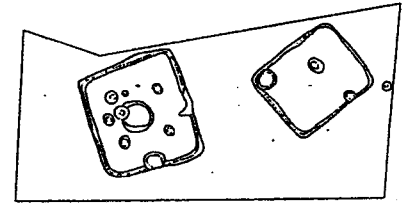
桑納前畑遺跡 b 地点第 2 次本調査
遺構配置図 S=1/400



桑納前畑遺跡 b 地点
出土縄文土器 (中期)

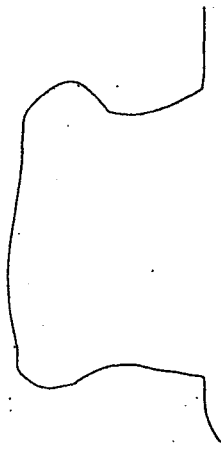


平沢遺跡 a 地点
遺構配置図 S=1/600

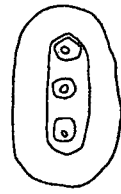
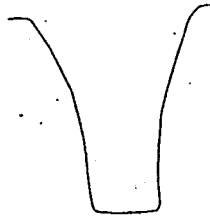
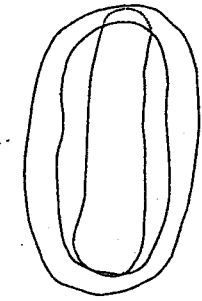


作山遺跡 d 地点第 2 次本調査
遺構配置図 S=1/400

平沢遺跡 b 地点 遺構配置図 S=1/600



池の台遺跡 g 地点
 落とし穴 (縄文時代)
 S=1/80



井戸向遺跡 b 地点
 落とし穴 (縄文時代)
 S=1/80

整理作業

整理作業は、平成7年に調査した上高野地区の平沢遺跡 a 地点の整理作業を行い、報告書刊行まであとわずかまで進みました。その他の整理作業については、年明けの1月以降に集中して行なわれました。平成20年度に行われた市内遺跡確認調査の報告書作成、今年度本調査を行った、池の台遺跡 g 地点、桑納前畑遺跡 b 地点、作山遺跡 d 地点1次本調査の整理・報告書作成を行いました。

普及啓発、その他の事業

普及啓発事業として、財団法人千葉県教育振興財団によって行なわれた平成21年度出土遺物巡回展「房総発掘ものがたり」に八千代市出土の多くの墨書土器(墨で文字等が書かれている土器のこと)が貸し出され、県内の多くの博物館で展示されました。8月～9月には八千代市立郷土博物館でも開催されました。

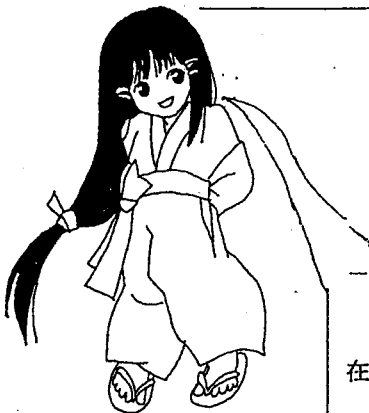
また、新しい試みとしては、12月に勝田台駅のステーションギャラリーにおいて八

千代市の出土文化財展示会を26日、27日、2日間行い、多くの市民の方にご覧いただきました。今後も定期的に行いたいと考えています。

2月には、ふれあい大学のOBの方々に對して、八千代市の文化財についての職員の出前講座を行いました。12月には、千葉県北西部地区の文化財発表会が野田市で行われ、八千代市も担当者が大和田宿や成田街道についての発表を行ないました。

例年行なわれている鉄製品の保存処理については、平成20年度に調査した平戸台8号墳出土の直刀の保存処理を行いました。現在、教育委員会1Fに展示してありますのでお立ちよりの際には是非ご覧下さい。終わりに

平成21年度の反省は、遺跡の現地説明会ができなかったことにあります。今年度は計画的に普及啓発事業を行なっていきたいと思います。また、12月に行なった出土文化財展示会などのような新規事業にも挑戦していきたいと思います。



—編集後記—

次回は、「八千代市立郷土博物館」周辺に所在する殿内遺跡特集をお届けします。

埋(まい)やちよ No.24

—千葉県八千代市埋蔵文化財通信—

平成22年 5月28日

編集・発行 八千代市教育委員会

教育総務課 文化財班

八千代市大和田138-2